

『ちゃぐりん』食農クイズ2022年10月号版 解答・解説

問題		解答	掲載ページ	解説
1	ナスの皮の色素は「ナスポン」という	×	4 69	ナスのあざやかなむらさき色は、「ナスニン」という色素によるものです。ポリフェノールの一種で、血液の流れや目の働きを良くするといわれています。ナスの皮の部分にだけふくまれているので、皮も食べるようにするとよいでしょう。
2	ナスと相性のよい調味料は砂糖である	×	4 69	ナスは油といっしょに調理することで、えぐみが和らいで、うまみを感じられるようになります。また、皮にふくまれるナスニンは水にとけやすいので、油でさっとあげて料理に使えば、ナスがきれいなむらさき色になり、栄養もしっかりとれます。
3	「秋ナスはよめに食わずな」ということわざがある	○	8	いくつか説がありますが、よく知られている意味はこの2つです。 ①秋ナスがとてもおいしいので、お嫁さんに食べさせるのはもったいないから ②ナスを食べると体が冷えるため、子どもを産むお嫁さんの体を心配する気持ちから
4	パクチーは日本語である	×	26	アジア料理や東南アジア料理によく使われるパクチーはタイ語です。日本語では「コエンドロ」中国語では「シャンツァイ」、英語では「コリアンダー」といいます。
5	風の強さで台風かどうか分かる	○	60	熱帯の海で発生する低気圧は「熱帯低気圧」(ねったいていきあつ)と呼ばれます。北西太平洋や南シナ海で、【最大風速がおよそ毎秒17メートル以上】に発達した熱帯低気圧が、「台風」となります。
6	日本では、食品ロスが問題となっている	○	75	毎日一人当たり、ごはん茶碗1ぱい分(約113グラム)の食べ物が捨てられているとされています。食べきれない量の食べ物を買ったり、料理を作りすぎたり、好ききらいで残したりすることが原因です。食べられる分だけ用意するように心がけましょう。
7	エノキタケは明るいところで育てる	×	154	エノキタケは暗い部屋の中で栽培します。日光があたらなため、1本1本が白くひょろひょろと細長く育ちます。
8	牛の乳は1日に100L出る	×	155	乳牛の乳しぼりは朝と夕方の2回行われ、1日に1頭の牛が出す乳の量は牛によって差はありますが、約20L～30Lです。学校の給食の牛乳パック(200mL)に置き換えるとおよそ100本～150本となり、ひとりで毎日200mL飲むとすると3～5か月はかかる計算になります。
9	カキは果物の中でもビタミンCを多くふくむ	○	156	カキにふくまれているビタミンCは、果物のなかでもトップクラスです。
10	島のみみなでお茶を楽しむ文化を持つ国がある	○	35	中国の最南東にある「海南島」(かいなんとう)の文化で、「老爸茶」(らおばーちゃ)と呼ばれます。昔、漁業が盛んだっころに朝の漁から帰ってきた漁師たちがお茶を飲んだり、おやつを食べていたことから、お茶を楽しむ習慣となって島の人々に受け継がれています。